

## 香川県的小麦新奨励品種「さぬきの夢 2000」の特徴

大山興央・村上優浩・大川俊彦・山田千津子・福島 淳・森 芳史・西村 恵・宮下武則  
香川県農業試験場研究報告 第 55 号 (2002 年 3 月) 9-16

香川県農業試験場において育成され、2001 年 9 月に香川県の奨励品種に採用された小麦「さぬきの夢 2000」は、以下の特徴等を有する。

1. 形態的特性は、「チクゴイズミ」に比べ 3 cm 程度短稈で、穂長はやや短く、穂数は同等からやや多い。千粒重は 36.5 g で「チクゴイズミ」より 3~4 g 程度軽く、原麦粒のみかけの品質はやや劣る。
2. 生態的特性は、出穂期、成熟期が「チクゴイズミ」より 1 日程度遅い早生種である。耐倒伏性は「チクゴイズミ」より優れ、耐病性は赤かび病には「中」、うどんこ病には「やや弱」で、いずれも「チクゴイズミ」並である。穂発芽性は「チクゴイズミ」並の「やや難」である。
3. 製麺適性は、讃岐うどんに加工した際の色と粘弾性において特に優れる。
4. 同一施肥水準下での収量は「チクゴイズミ」に比べやや低く、「ダイチノミノリ」並である。倒伏し難く、高品質で安定した収量が得られる施肥水準は、「チクゴイズミ」よりやや多い総窒素施用量で 0.9~1.1 k g/a、このうち基肥窒素量は 0.7~0.8 k g/a である。
5. 播種適期は 11 月中旬で、早播き、遅まきとも収量性は低下する傾向にある。また、ごく早播き (10 月播種) では凍霜害の危険が高まる。

キーワード：奨励品種、小麦、さぬきの夢 2000、品種特性、播種適期